

機械工学委員会・基礎医学委員会・電気電子工学委員会・材料工学委員会合同
生体医工学分科会の設置について

分科会等名：生体医工学分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、 主体となる委員会に○印を付ける。)	○機械工学委員会 基礎医学委員会 電気電子工学委員会 材料工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	<p>我が国の医療機器に関する研究技術開発は世界的なレベルにあるが、実用化に至り世界中で利用されているものはそれほど多くはない。また、機械工学や電気電子工学、材料工学に加え、最新のナノ及びバイオテクノロジー技術やIT技術を組み合わせた新分野の発展も期待されている。生体医工学は医療機器開発を中心とした研究領域であり、多くの工学領域と医学系との連携が必要不可欠である。</p> <p>また、開発から実用化に至る過程で、倫理や法制などの社会的諸問題にも関係する。よって、生体医工学の研究開発から実用化に向けての諸課題を解決するには、分野横断的な検討が必須である。</p> <p>また、我が国発の医療機器が世界をリードするためには、生体医工学の教育の充実や関連産業の育成など、俯瞰的視野と中長期的な視点が必要である。このような理由から本分科会を設置し、生体医工学のより一層の振興を図る。</p>
4	審議事項	<p>1. 生体医工学の教育・研究体制の現状と課題</p> <p>2. 研究開発から実用化に至る過程での課題と方策</p> <p>3. 国内外関連学協会等の動向、情報交換、連携推進の方策に係る審議に関すること</p>
5	設置期間	令和6年1月25日～令和8年9月30日
6	備考	